

## 世界史正誤判定プリント⑦ 中世ヨーロッパ世界

以下の文章の正誤を判定し、正しければ○を、誤っていれば×を番号に付けなさい。

\*×の場合、正しいものに直せるとより力が付きます。

219 大移動前のゲルマン人の社会では、女性の地位が高く、民会にも参加できた。

220 フン人の西進により、西ゴート人が圧迫されて移動を開始した。

221 13世紀に、東ゴート王国が成立した。

222 ゲルマン人の一つであるランゴバルド(ロンバルド)人は、イベリア半島を経て北アフリカに建国した。

223 アングロ=サクソン人は、七王国を建てた。

224 クローヴィスは、ネストリウス派に改宗した。

225 フランク王国のカール=マルテルは、イベリア半島に侵攻してイスラーム教徒の軍を撃破した。

226 フランク王国のピピンは、コンスタンティノープル教会との関係を強化し、カロリング朝を開いた。

227 グレゴリウス1世は、ゲルマン人への布教を行った。

228 6世紀にベネディクトゥスは、モンテ=カシノに修道院を建てた。

229 ローマ教会は、神聖ローマ皇帝を首長とする教会制度を築いた。

230 ローマ教会が出した聖像禁止令に対して、東方の教会は反発した。

231 8世紀に、カール大帝は、マジャール人を撃退した。

232 カール大帝は、教皇レオ3世によって、ローマ皇帝の冠を授けられた。

233 13世紀に、ギリシア正教会はローマ=カトリック教会と分裂した、

234 フランク王国は、ヴェルダン条約によって、東フランク王国と西フランク王国に2分された。

235 9世紀に、ローマ教皇により、オットー1世が帝冠を授けられた。

236 西フランクでは、カロリング朝の断絶後、ヴァロア朝が成立した。

237 ノルマン人は、居住地であるアイスランドから、ノルウェーに進出した。

238 アルフレッド大王が、デーン人の王国をイングランドに建てた。

239 クヌートは、9世紀にイングランドを征服した。

240 ノルマン人のロロが、イングランドにノルマン朝を開いた。

241 9世紀に、リューリクに率いられた一派により、ノヴゴロド国が建てられた。

242 地中海に進出したノルマン人は、両シチリア王国を建てた。

243 西ヨーロッパの封建制では主君が家臣に封土を与えるのに対して、家臣は主君に対して軍事的忠誠の義務を負った。

244 中世の荘園には、直営地以外に、農民自らが耕作することのできる保有地は与えられなかった。

245 荘園制のもとで農奴身分におかれた農民は、領主への貢納や賦役を課されていた。

246 ヨーロッパでは、国王の役人が入ることも徴税することもできない荘園の土地を、恩貸地という。

247 世俗世界の階層制と同様に、教会においても、ローマ教皇を頂点とする、大司教・司教・司祭などの階層制が確立した。

248 8世紀に、クリュニー修道院を中心とする教会改革運動が起こった。

249 フランチェスコ修道会は、托鉢修道会の一つであった。

250 グレゴリウス7世は、カノッサで皇帝に謝罪した。

251 ビザンツ(東ローマ)皇帝ユスティニアヌスは、ランゴバルド王国などを滅ぼし、地中海世界を再び統一した。

252 中国から伝わった養蚕の技術が、ビザンツ帝国で取り入れられた。

253 ビザンツ帝国では、軍管区制(テマ制)がとられた。

254 ビザンツ帝国は、第4回十字軍から首都を奪回したあと、ラテン帝国を建てた。

255 ビザンツ帝国では、公用語がギリシア語からラテン語となった。

256 コンスタンティノープルのハギア=ソフィア聖堂は、レオン3世の命によって建設された。

257 ウラディミル1世は、ユダヤ教を国教とした。

258 セルビア人は、バルカン半島に定住後、ローマ=カトリックを受容した。

259 ポーランド人の中では、ギリシャ正教が広く受容された。

260 17世紀に、ポーランドとリトアニアが合同して、ヤゲウォ朝が成立した。

- 261 ドナウ川流域に進出したノルマン人は、ハンガリー王国を建てた。
- 262 11～13世紀の西ヨーロッパでは、三圃制が普及し、農業生産力が向上した。
- 263 十字軍は、ブワイフ朝の小アジア進出がきっかけとなった。
- 264 9世紀に、教皇ウルバヌス2世がクレルモン公会議を開いた。
- 265 サラディン(サラーフ=アッディーン)は、十字軍からイエルサレムを奪回した。
- 266 第4回十字軍は、フィレンツェの主導のもとにコンスタンティノープルを占領し、ラテン帝国を建てた。
- 267 長期にわたる十字軍とその失敗は、諸侯や騎士の没落の一員となった。
- 268 イタリア商人はおもに、東方から銀を、アルプスの北から香辛料を得た。
- 269 中世のフィレンツェでは、毛織物生産が盛んだった。
- 270 北海やバルト海の貿易では、主に絹織物や貴金属が取引されていた。
- 271 北ヨーロッパ商業圏と地中海の接点にあたる北イタリアでは大きな市が定期的に立つようになった。
- 272 アウクスブルクは、南ドイツ産の銀で繁栄した。
- 273 自治都市は、王権が弱体であったイギリスでとくに発達した。
- 274 中世ドイツの帝国都市(自由都市)は、皇帝に直属しつつ、諸侯に対抗する政治的自立を得ていた。
- 275 ロンバルディア同盟は、北ドイツ・バルト海沿岸諸都市を中心に結成された。
- 276 ギルドは、生産・流通の自由競争を促進した。
- 277 中世都市の手工業者は、大商人に対抗した同職ギルド(ツunft)を組織した。
- 278 手工業の親方と職人・徒弟の間には、自由・対等の関係があった。
- 279 領主直営地における賦役の廃止は、農民の経済的地位の向上に重要な役割を果たした。
- 280 黒死病(ペスト)の流行が、12世紀に農業人口を激減させた。
- 281 イギリスで、ジャックリーの乱が起きた。
- 282 火器による戦術の変化が、忠誠における騎士層の没落の一因となった。
- 283 フランス王フィリップ4世は、インノケンティウス3世と対立した。
- 284 12世紀に、教皇庁がアヴィニョンに移された。
- 285 14世紀に、オランダのウィクリフが教会制度を批判して、宗教改革の先駆者となった。
- 286 15世紀に、コンスタンツ公会議で教会大分裂が收拾された。
- 287 12世紀に、イギリスでプランタジネット朝が開かれた。
- 288 イギリス王ジョンは、フランスのフィリップ2世を破り、イギリス領を拡大した。
- 289 シモン=ド=モンフォールは、ヘンリ8世に対して反乱を起こした。
- 290 イギリスでは、13世紀にエドワード1世が模範議会を開催した。
- 291 フランス王フィリップ4世は、カタリ派(アルビジョワ派)を平定した。
- 292 14世紀に、フランスで最初の三部会が開催され、教皇の威信が高まった。
- 293 フランドル地方の都市は、綿工業によって栄えた。
- 294 メロヴィング朝が途絶えると、王位継承をめぐる争い、イギリスはフランスに出兵した。
- 295 フランスの軍隊は、クレシーの戦いでイギリス軍に勝利した。
- 296 百年戦争の結果、イギリス王はオルレアン以外の大陸の所領を失った。
- 297 百年戦争が終わると、イギリスに内乱が起こり、それを収めたヘンリ7世がスチュワート朝を開いた。
- 298 歴代神聖ローマ皇帝のイタリア政策は、ドイツにおける集権化を促進した。
- 299 16世紀後半に、皇帝カール4世は、金印勅書を発布した。
- 300 神聖ローマ皇帝は、15世紀以降、ホーエンツォレルン家から選出されるようになった。
- 301 ドイツ騎士団が、国土回復運動(レコンキスタ)を行った。
- 302 イタリアでは、皇帝党と教皇党が互いに争い、分裂状態が続いた。
- 303 国土回復運動(レコンキスタ)が行われた時期に、イベリア半島西部にアラゴン王国が建国された。
- 304 15世紀に、カスティリヤ王女とアラゴン王子との結婚を経て、スペイン王国が建国された。
- 305 オランダ・デンマーク・ノルウェーが、カルマル同盟を結成した。
- 306 モスクワ大公国がモンゴル人の支配から脱したときの大公は、ウラディミール1世であった。
- 307 イヴァン4世の治世下で、イエルクのシベリア遠征が行われた。
- 308 カール大帝は、アルクインらを集め、学芸を奨励した。

- 309 ロジャー＝ベーコンは、『神学大全』を著し、スコラ学を完成させた。
- 310 12～13 世紀に、アラビア語の哲学書や医学書がラテン語に翻訳され、西ヨーロッパの哲学や神学・医に影響を与えた。
- 311 ヨーロッパでは、国王の役人が入ることも徴税することもできない荘園の土地を、恩貸地という。中世の大学は、教師と学生のギルド的な自治組織であった。
- 312 イギリスのオックスフォード大学は、医学研究を中心に発展した。
- 313 中世ヨーロッパにおいて、ロマネスク様式につづいてゴシック様式が広まった。
- 314 ゴシック式建築の代表的な例は、ピサ大聖堂である。
- 315 イギリスでは、カール大帝とその武将の活躍を描いた『アーサー王物語』が成立した。